

令和7年度

障害のある子どもたちの学校・学級紹介

いっしょけんめいが 好きです



秋田県教育委員会

視覚に障害のある子どもの教育

視覚に障害のある子どものために、**県立視覚支援学校**があります。

点字や、弱視レンズ等の視覚補助具で拡大した文字等により、幼稚園、小・中学校等及び高等学校に準ずる教育を行っています。高等部専攻科では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等の資格取得を目指した専門教育を行っています。

視覚支援学校に設置している**ロービジョン支援センター**では、視覚に障害のある方への教育相談・支援を行っており、3歳未満の子どもの教育相談やセンター教室での定期的な教育相談にも応じています。県内2地区では、幼児から成人までを対象にした、月1回の**サテライト教室**を実施し、教育相談や学習支援を行っています。

小・中学校等の**弱視特別支援学級**では、弱視レンズ等の効果的な活用により、事物を明確に認識する力を高めながら教科指導等を行っています。



小学部：単眼鏡で板書を確認（算数）



高等部：点字用紙を使ったポチ袋の製作（職業実践）



中学部・高等部・高等部専攻科：東北地区盲学校文化・体育大会

聴覚に障害のある子どもの教育

聴覚に障害のある子どものために、**県立聴覚支援学校**があります。

補聴器や人工内耳を活用して、幼稚園、小・中学校等及び高等学校に準ずる教育を行っています。併せて、音や言葉を聞き分ける学習や一人一人に応じたコミュニケーション手段の習得のために必要な学習を実施しています。高等部専攻科では、産業技術科、情報デザイン科において、専門技術を身に付けるための専門教科を設定しています。

聴覚支援学校に設置している**きこえとことば支援センター**では、聴覚に障害のある方への教育相談・支援を行っており、3歳未満の子どもの教育相談や「通級による指導」も実施しています。県内2地区では、難聴のある幼児児童生徒を対象とした、週1回の**サテライト教室**を行っています。

小・中学校等の**難聴特別支援学級**では、補聴器の活用や子どもの聞こえを生かすことによって、抽象的な言葉の理解を促しながら教科指導等を進めています。



幼稚園：おみせやさんごっこ（総合保育）



中学部：宿泊学習報告会（総合的な学習の時間）



高等部：手話による秋田県民歌のレクチャー（自立活動）

肢体不自由のある子どもの教育

肢体不自由のある子どものために、**県立秋田きらり支援学校**があります。

小・中学校等及び高等学校に準ずる教育や、知的な発達の遅れを併せ有する子どものための教育のほか、健康の保持増進、運動・動作やコミュニケーション能力等の向上を目指した教育も行っています。また、県立医療療育センターが隣接しており、入院が必要な子どもに対しても、医療、福祉等の関係機関と連携した教育活動を実施しています。

小・中学校等の**肢体不自由特別支援学級**では、教材・教具の工夫やコンピュータ等の活用により各教科等の学習を行っています。



小学部：視覚支援学校との教科学習交流
～幼虫の観察～（理科）



中学部：ボッチャ競技～作戦会議～
（保健体育）



高等部：モニターで手元を確認～ラベンダーのつぼみ取り～（作業学習）

病気の子どもや体の弱い子どもの教育

県立秋田きらり支援学校では病気の子どもや体の弱い子どものための教育を行っています。病院（中通総合病院、医療療育センター、独立行政法人国立病院機構あきた病院）に入院して治療を受けている子どもに対しては、訪問教育も行っています。

また、県立秋田きらり支援学校に設置している**病弱教育サポートセンター**では、入院中や自宅療養中の子どもを支えるために、全県域での教育相談・支援を行っており、病院や在籍する学校（園）との連絡調整や復学までの支援にも応じています。

秋田大学医学部附属病院内には、病院内サポートルーム「**サポートルーム☆きらり**」を設置し、短期間の入院による治療を行う小・中・高校生に対して、体調や学習ニーズに応じた相談支援を行っています。また、**県立ゆり支援学校**でも、由利組合総合病院において同様の相談支援を行っています。

小・中学校等の**病弱・身体虚弱特別支援学級**では、医療や生活の管理を必要としながらも自宅から通学できる子どもに対して、個々に必要な支援や配慮の下で指導を行っています。病院（秋田大学医学部附属病院、大館市立総合病院等）内に設置された**病弱・身体虚弱特別支援学級**では、病院に入院して治療を受けている子どもに対して、病状に配慮しながら指導を行っています。



遠隔授業：「病弱教育サポートセンター」による相談活動（ICTを活用して病室から在籍校の授業に参加）



一人一人の教育的 ニーズに応じます

知的に障害のある子どもの教育

主に知的障害のある子どものための教育を行う特別支援学校が、県内には本分校合わせて**12校**あります。小学部では基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、具体的な生活場面を通して生活に役立つ言葉や数等の学習を行っています。

中学部や高等部では、作業学習や職場・施設で実際に働く体験（産業現場等における実習）等の、将来の社会的自立に向けた実践的・体験的な学習を行っています。**県立栗田支援学校高等部**には、職業学科もあります。

小・中学校等の**知的障害特別支援学級**では、小集団の中で、各教科等の学習や生活に役立つ学習を個に応じて行っています。



小学部：段ボール遊び（遊びの指導）



中学部：老人福祉施設との交流
（総合的な学習の時間）



高等部：職場実習～品出しの仕事～

情緒面や行動面に対して支援が必要な子どもの教育

心理的な要因により学校生活への適応が困難な子どもや、人とのコミュニケーションや行動面での困難さのある子どもは、小・中学校等の**自閉症・情緒障害特別支援学級**や通常の学級において、特別な支援や配慮の下で教育を受けています。

見通しをもって学習に取り組むことができるように、具体物や絵、図、写真等の視覚的な手掛かりの活用や環境への配慮等、障害特性に応じた方法を工夫して指導しています。



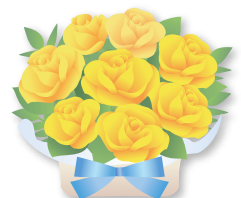
訪問教育：自宅からオンラインで
「朝の会」に参加

毎日学校へ通って教育を受けることが 難しい子どもの教育（訪問教育）

医療や介護を常時必要とするために、毎日学校へ通って教育を受けることが難しい子どもに対しては、家庭や病院に教師を派遣する訪問教育を行っています。訪問教育は、週3日1回2時間程度を標準とし、それぞれの子どもの状態に応じて回数や時間を設定しています。

日常的に医療的ケアが必要な子どもへの対応

日常的に医療的ケアが必要な子どものために、学校看護職員（看護師）を配置し、医療機関と連携しながら、安心・安全な教育ができるよう支援している学校・学級があります。



一人一人に応じた様々な学びの場があります

特別支援学校

学校名	対応する主障害	設置学部	訪問教育	寄宿舎	スクールバス
視覚支援学校	視覚障害	幼・小・中・高・専		○	○
聴覚支援学校	聴覚障害	幼・小・中・高・専		○	○
秋田さらに支援学校	肢体不自由	小・中・高	○		○
比内支援学校	知的障害	小・中・高	○	○	○
同 かつの校	知的障害	小・中・高			○
同 たかのす校	知的障害	小・中・高			○
能代支援学校	知的障害	小・中・高		○	○
支援学校天王みどり学園	知的障害	小・中・高			○
栗田支援学校	知的障害	小・中・高		○	○
ゆり支援学校	知的障害	小・中・高	○	○	○
大曲支援学校	知的障害	小・中・高	○	○	○
同 せんぼく校	知的障害	小・中・高	○		○
横手支援学校	知的障害	小・中・高	○		○
稲川支援学校	知的障害	小・中・高			○
秋田大学教育文化学部 附属特別支援学校	知的障害	小・中・高			

特別支援学級（小・中学校等に設置）

（学級数）

	小学校	中学校	合計
知的障害	173	89	262
肢体不自由	23	10	33
病弱・身体虚弱	31	11	42
弱視	3	0	3
難聴	21	10	31
自閉症・情緒障害	149	83	232
合計	400	203	603

小・中学校等の通常の学級及び 高等学校における指導・支援

障害やその特性、環境の調整に配慮し、授業や学校生活の中で、指導内容・方法を工夫して、個に応じた指導・支援を行っています。

小・中学校及び高等学校における通級による指導

【小学校】

※1 ※2

市町村	設置校名	言	学
鹿角市	花輪小学校	○	
	桂城小学校	○	○
大館市	扇田小学校		○
	釈迦内小学校		○
北秋田市	鷹巣小学校	○	○
能代市	浄城南小学校	○	○
	第四小学校		○
三種町	湖北小学校		○
男鹿市	船川第一小学校		○
潟上市	出戸小学校		○
五城目町	五城目小学校		○
	中通小学校	○	○
	旭南小学校	○	
秋田市	土崎小学校	○	○
	桜小学校		○
	日新小学校		○

市町村	設置校名	言	学
由利本荘市	鶴舞小学校		○
	矢島小学校		○
にかほ市	象潟小学校		○
大仙市	大曲小学校		○
	花館小学校	○	○
仙北市	角館小学校	○	○
	生保内小学校	○	
美郷町	六郷小学校		○
横手市	朝倉小学校	○	○
	十文字小学校		○
湯沢市	湯沢西小学校	○	○
	湯沢東小学校		○
羽後町	西馬音内小学校		○

※1 言…主に言語障害を対象とする通級指導教室
※2 学…主にLDやADHDを対象とする通級指導教室

【中学校】

※2

市町村	設置校名	学
鹿角市	花輪中学校	○
大館市	第一中学校	○
北秋田市	鷹巣中学校	○
能代市	能代第二中学校	○
秋田市	秋田市教育研究所 (山王中学校)	○
由利本荘市	本荘北中学校	○
にかほ市	仁賀保中学校	○
大仙市	大曲中学校	○
仙北市	角館中学校	○
横手市	横手北中学校	○
湯沢市	湯沢南中学校	○

【高等学校】

※2

市町村	設置校名	学
大館市	県立大館鳳鳴高等学校 定時制	○
秋田市	県立秋田明徳館高等学校 定時制	○
横手市	県立横手高等学校 定時制	○

共に学び共に育つ～交流及び共同学習～

特別支援学校・特別支援学級と小・中学校等及び高等学校の通常の学級における交流及び共同学習では、障害のある子どもと障害のない子どもが共に活動する機会を通して、互いに理解を深め合い、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学んでいます。



小学部：学校間交流～紙飛行機飛ばし～



中学部：居住地校交流～田舎づくり～



高等部：学校間交流～サバ缶づくり～

★ 早期からの継続した支援 ★

各市町村では、教育や医療、保健、福祉、労働等の関係機関との連携を進めており、乳幼児期から成人期までのライフステージに応じて、関係者がつながりながら必要な指導や支援を行うことを大切にしています。

乳幼児期から学校卒業後までの一貫した教育的支援

〈乳幼児期〉 幼稚園・保育所・認定こども園等	就学	小学校	中学校	高等学校	卒業	〈成人期〉
		義務教育学校				
特別支援学校幼稚部		小学部	中学部	高等部		

就学支援シート／個別の教育支援計画／個別の移行支援計画
個別の指導計画



各市町村や学校（園）等において、就学前から高等学校までの間、子どもの支援に関する情報を確実に引き継ぐよう、諸計画の作成や活用を進めています。

早期からの教育相談・支援は、よりよい学びのスタートの鍵!

就学の手続きの流れ ～新小学1年生の場合～

- ・市町村教育委員会へ直接問合せ
- ・園や学校へ相談
- ・相談会※へ参加
- ・学校見学申込み等

★教育相談

学齢簿の作成

10月

★就学時健康診断

11月30日まで

就学先の決定

11月～12月

小学校

市町村教育委員会から1月末までに入学通知が届きます。

特別支援学校

県教育委員会から1月末までに入学通知が届きます。

(★は保護者が関わる部分)

就学に当たっては、**できるだけ早い時期から**情報を集め、子どもに適した教育内容や環境、適切な支援について相談したり、学校見学をしたりして、学びの場を検討していくことが大切です。学校公開や地域のイベント等でも、学校や児童生徒の学びの様子を知ることができます。

※県と市町村が共催で行う「**就学や教育に関する相談会**」のほかに、市町村独自で相談会を実施しているところもあります。お問合せやお申込みはお住まいの市町村教育委員会へ。

就学に関するリーフレットも作成しています。相談会等で差し上げていますが、県の特別支援教育課ホームページからもダウンロードできますので、御利用ください。

美の国あきたネット 特別支援教育課

検索



★ 将来を見通したキャリア教育 ★



小学部：おしごと探検



中学部：校内実習
～リサイクル作業～

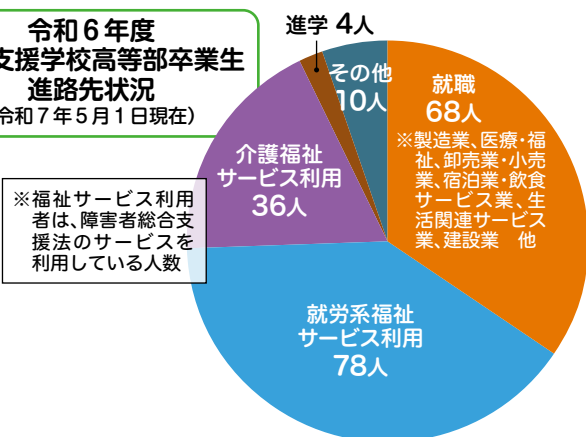


中学部：職場見学



中・高等部：作業学習製品販売会

**令和6年度
特別支援学校高等部卒業生
進路先状況**
(令和7年5月1日現在)



障害のある子どもたちにとって、一人一人が「生きる力」を身に付け、地域の中で力を発揮し、自立と社会参加を目指していくことは、キャリア発達を促す上でとても重要です。

特別支援学校では、日々の教育活動の中で、役割活動や職場実習等の実践的・体験的な学習を行っています。様々な人々とのコミュニケーションを通して、自分のよさに気づき、自信を付け、将来の夢や希望に向かって努力する大切さについて、体験から学んでいます。



高等部：梨の収穫



高等部：介護職員初任者研修講座



特別支援学校総合体育大会
(ネオホッケー競技)



寄宿舎：部屋掃除

★ 地域と共に ★

特別支援学校では、地域の方々に支えられ、学習発表や職場実習などの場を得ています。学習の成果を披露したり、活動を共にしたりすることによって、地域に深く根ざした学習活動を進めています。



小学部：近隣施設への花のプレゼント



寄宿舎：高等学校書道部との
書き初め交流



中学部：横手城のクリーンアップ活動



高等部：観光客への武家屋敷案内



高等部：地域の除雪作業



高等部：犬っこまつりに向けた
「お堂っこ」づくり

教育や発達に関する相談の窓口

保護者の皆さんや教職員からの相談に専門の担当者が応じています。相談は無料です。相談内容等の秘密は厳守します。お申込みの際は、相談内容や相談希望日等を、あらかじめ電話でお知らせください。

特別支援学校

学校名	電話番号
県立視覚支援学校	018-889-8571
県立聴覚支援学校	018-889-8572
県立秋田きらり支援学校	018-889-8573
県立比内支援学校	0186-55-2131
県立比内支援学校 かつの校	0186-22-0253
県立比内支援学校 たかのす校	0186-66-2128
県立能代支援学校	0185-55-0691
県立支援学校 天王みどり学園	018-870-4611
県立栗田支援学校	018-828-1162
県立ゆり支援学校	0184-27-2630
県立大曲支援学校	0187-68-4123
県立大曲支援学校 せんぼく校	0187-42-8568
県立横手支援学校	0182-33-4166
県立稲川支援学校	0183-42-4424
秋田大学教育文化学部 附属特別支援学校	018-862-8583

各教育事務所・出張所

教育事務所・出張所名	電話番号
北教育事務所	0186-62-1217
同 鹿角出張所	0186-23-3302
同 山本出張所	0185-52-3369
中央教育事務所	018-860-3244
同 由利出張所	0184-22-3673
南教育事務所	0182-32-1101
同 仙北出張所	0187-63-3477
同 雄勝出張所	0183-73-1106

秋田県総合教育センター

各相談窓口	電話番号
すこやか電話相談	0120-377-804
支援チーム特別支援教育担当	018-873-7215

各市町村においても、相談会や健康相談等を行っています。詳しくはお住まいの市町村教育委員会や保健・福祉の窓口へお問い合わせください。

特別支援教育地域センター

地区名	設置校名	電話番号
鹿角市・鹿角郡	*花輪小学校	0186-23-3302*
大館市・北秋田市・北秋田郡	●桂城小学校	0186-42-4910 (専)
	●鷹巣小学校	0186-62-9814 (専)
能代市・山本郡	●湊城南小学校	0185-52-0468 (専)
男鹿市・湯上市・南秋田郡	●船川第一小学校	0185-24-3231
秋田市	●秋田市教育研究所	018-865-2530
	●鶴舞小学校	0184-22-3558 (専)
由利本荘市・にかほ市	●(岩谷小学校)	0184-65-2220
	●花館小学校	0187-63-1022
大仙市・仙北市・仙北郡	*角館小学校	0187-63-3477*
	●朝倉小学校	0182-32-6070
湯沢市・雄勝郡	●湯沢西小学校	0183-72-5150

() は相談ルーム設置校

●特別支援教育アドバイザーによる相談対応 (週3回程度)

*各教育事務所・出張所の特別支援教育担当指導主事による相談対応

あきた総合支援エリア

あきた総合支援エリア



医療療育センターと特別支援学校が協力して、教育や発達に関する一人一人の相談に応じます。

県立特別支援学校

ロービジョン支援センター (県立視覚支援学校内) TEL:018-889-8571 学校代表メール: shikaku-s@akita-pref.ed.jp (サテライト教室・教育相談・学習会・研修会等の問合せ・申込み)
きこえとことば支援センター (県立聴覚支援学校内) TEL:018-889-8572 TEL:090-8784-6302 (支援センター直通) 直通メール: cho-shien0291@docomo.ne.jp chokaku-s.shien@akita-pref.ed.jp (サテライト教室・教育相談・学習会・研修会等の問合せ・申込み)
病弱教育サポートセンター (県立秋田きらり支援学校内) TEL:018-889-8573 TEL:018-838-1181 (サポートセンター直通) 直通メール: kirari-support@akita-pref.ed.jp (病弱教育に関する相談・学習会・研修会等の問合せ・申込み)
〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

県立医療療育センター

秋田県発達障害者支援センター「ふきのとう秋田」
(発達障害児・者等に関することの相談)

TEL:018-826-8030
(受付時間 平日9時～17時)

秋田県医療的ケア児支援センター「コラソン」
(医療的ケア児に関することの相談)

TEL:018-827-5730
(受付時間 平日10時～15時)

〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番2号